



解読比較用のサンプル信号について

WSJT-X や JTDX のダウンロードサイトでは、解読器の動作を確認するためのサンプル信号が公開されています。しかし単発の録音のため、誤デコードなのか本物なのかの判断が難しくバリエーションにも欠けます。

休日や DX のオープンで混雑している時間帯に、複数のデコーダーでリアルタイムに解読してみましたが、ローカル局やアクティブ局のコールサインが満載された信号で議論するのは、いささかはがかられます。

そこで、2025 年 9 月 20 日の深夜、世界各地の KiwiSDR で 14.074MHz を受信して、一番多く見えていたイギリス南部の G8URE の受信機をお借りして、17 時 55 から 1 分間（4 ピリオド分）を記録しました。

所有者 : G8URE

QTH : Chichester West Sussex England

Grid : IO90QU

Rx : KiwiSDR2

Ant : 80m Dipole

URL : <<http://g8sure.ddns.net:8078>>

● 解読比較用サンプル信号の使い方

・ 展開

ダウンロードしたファイルを任意のディレクトリ（例：ダウンロード > sample）に展開します。

ファイル名：

250920_175500.wav

250920_175515.wav

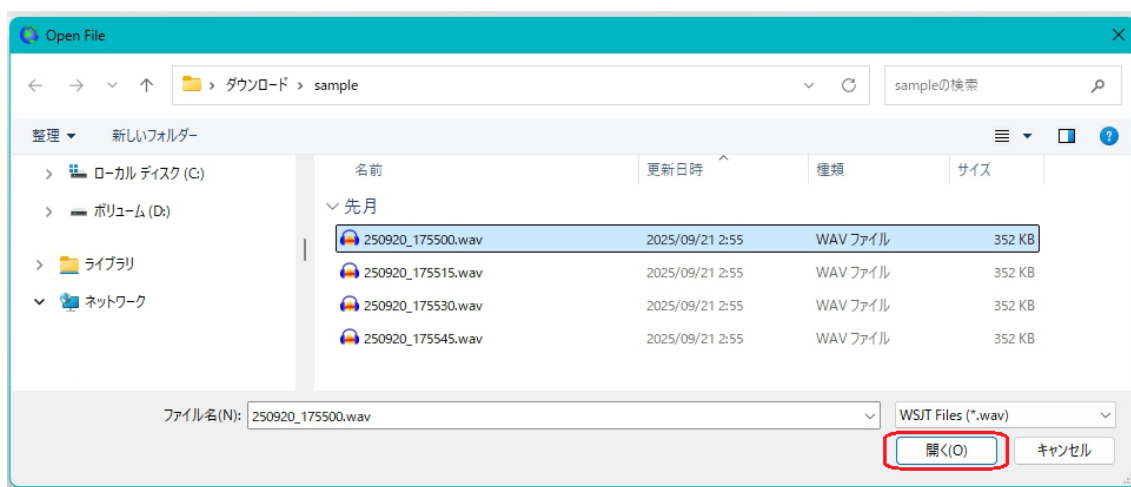
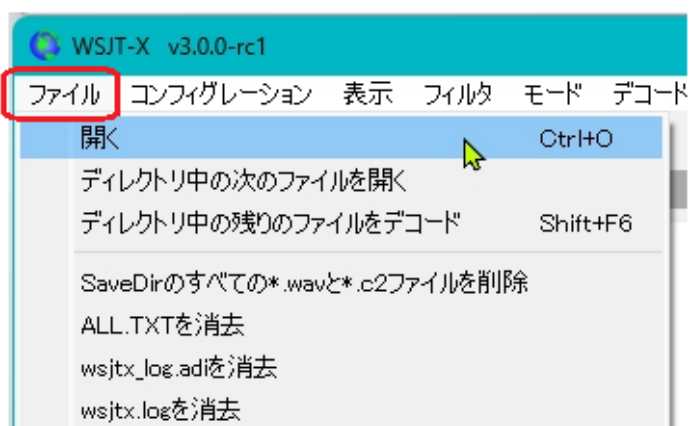
250920_175530.wav

250920_175545.wav

- 最初のファイルの解読操作

WSJT-X メニューバーの **ファイル** ⇒ **開く** ⇒ 展開したフォルダーを開いてファイルを選択 ⇒ **開く** または **Enter** キー

※ 新設されたフィルター類を無効にするため「BP」を☑しておくこと！



- 次のファイルの解読

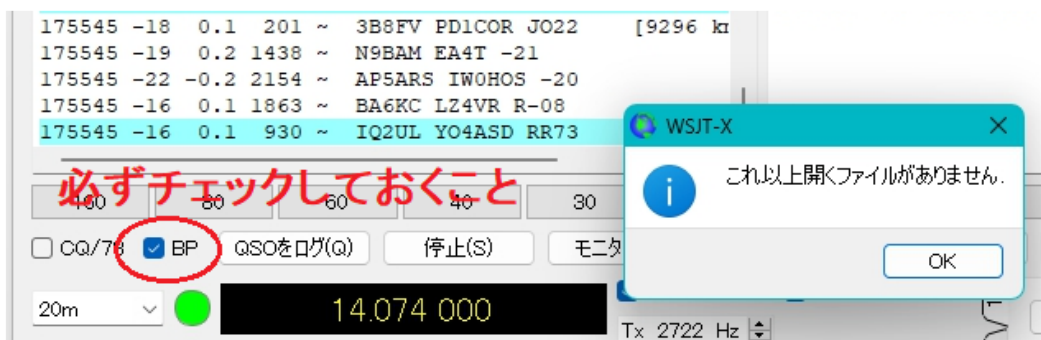
メニューから **ディレクトリ中の次のファイルを開く** をクリック. または, **F6** キーを押す.

あるいは, 残りのファイルを一気に解読することもできます.

- ・ 残りのファイルの解説

メニューから **ディレクトリ中の残りのファイルをデコード** をクリック。または、**Shift** + **F6** キーを押す。

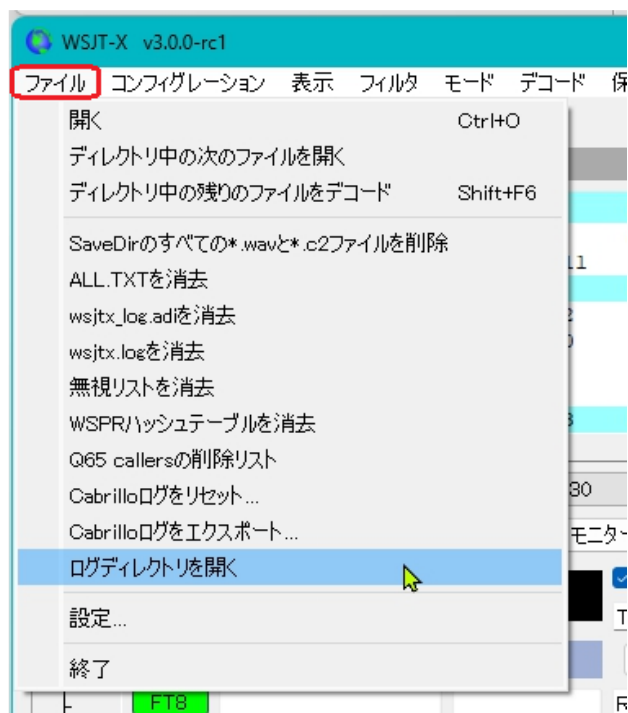
※ 最後のファイルの解説が終わると、メッセージが表示されます。

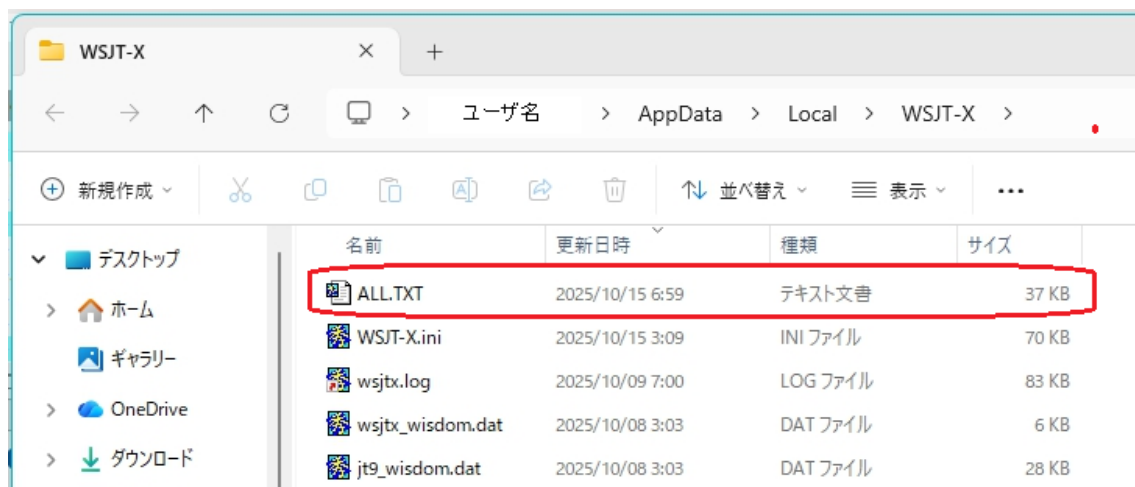


- ・ 解説結果の確認

解説結果は、WSJT-X ログディレクトリの中にある“ALL.TXT”の最後尾に記録されています。

内容はメモ帳などで読むことができます。





• ALL.TXT の様式

ごく一般的なテキスト形式のファイルなので、Windows 標準のメモ帳などで読むことができます。

タイムスタンプは UTC の受信時刻ですが、ダイヤル周波数は WAV ファイルを解読した際のダイヤル周波数なのでご注意ください

行数	タイムスタンプ	ダイヤル周波数	送受	モード	SNR	DT	Freq	メッセージ	ap表示
740	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-12	0.5	773	CQ R6PAP LN33↓	
741	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-9	0.2	316	PJ7K OK1DSP J060	a35↓
742	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-18	0.1	963	JA3SIA LZ2PAJ R-11↓	
743	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-15	1.0	1145	CQ LZ1ZF KN22↓	
744	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-18	0.1	201	3B8FV PD1COR J022↓	
745	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-19	0.2	1438	N9BAM EA4T -21↓	
746	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-22	-0.2	2154	AP5ARS IW0HOS -20↓	
747	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-16	0.1	1863	BA6KC LZ4VR R-08↓	
748	250920_175545	14.074	Rx	FT8	-16	0.1	930	IQ2UL Y04ASD RR73↓	
749	[EOF]								

以上